登下校で不審者に会ったり、いろいろなところでこわい事件がたくさんおきています。子どもたちが、安心して通学できない社会になりつつあります。どうしたらいいのかな？

町内の老人会や退職したお年よりたちが、子どもたちの安全な登下校を見守るため、ポイントにたち立ち番をするなど、「シニア見守り隊」などと呼ばれるボランティア活動が全国に広がっています。

ひと

だれもがひとりひとりを
大切にし、おたがいに支え合う社会

けいたい電話はいろいろ便利な機能があり、ユニバーサルなもの（誰でも使うことができるもの）だといわれていますね。どんな使い方があるのかな？

耳の不自由な人はけいたい電話のメールで連絡を取り合います。弱視の人たちは、「ズームや白黒反転の機能」を活用しています。徘徊（居場所がわからなくなりうろうろすること）する認知症の人や、子どもたちに持たせて、その居場所の確認など安全を確保する方法としても使われています。

もの

だれもが手がるに、モノを利用し、
質の高いサービスをうけることのできる社会

目の不自由な人がパソコンを使いたいときには、どうするのかな？

「音声読み上げソフト」を使うと文字を読み上げてくれるので、文字変換が簡単にできます。
弱視の人には、文字を大きくうつし出してくれるソフトウエアもあります。

駅のホームにいると、「事故で電車が遅れる」とアナウンスがありました。このような情報は耳の不自由な人には、届きません。どうしたらいいのかな？

「電光掲示板」にニュースを流したり、電車の駅の通過点を示すことで、耳の不自由な人は安心して公共交通機関が利用できます。

情報

だれもが、いろいろな方法で、
わかりやすい情報を手に入れ、交換できる社会

日本を訪れる外国人も多いけど、まちの標識がわからないと困ってしまいますよね。

最近は、「英語・ハングル・中国語などがならべて書かれてある標識」をみるようになりました。公共施設で「ピクトグラム（絵文字）」が使われています。ピクトグラムがあれば、文字の読めない子どもや障害のある人たち、外国人にもわかりやすいね。

赤ん坊を連れたママは、トイレに行くとき、困るよね。それにおっぱいをあげるのはどこで、どうやってあげるのかな？

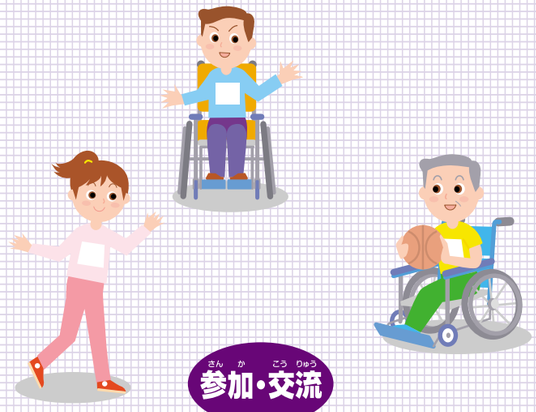
トイレにベビーベッドが置いてあり、ベビー専用のシートベルトのついた椅子も置かれています。また、オッパイルームがあり、赤ん坊連れのママは、清潔な部屋で安心しておっぱいをあげることができます。

まち

だれもが、安心して住まい、
家からまちまで安心して移動し、活動できる社会

障害のある人と一緒に楽しめるスポーツがありますよ。

障害のある人たちとともに「車いすバスケット」。マンガでもとりあげられました。スポーツをとおして、汗を流して交流するのは楽しいし、自然に友情が生まれます。車いすを使用する人たちもサッカーを楽しんでいます。



参加・交流

だれもが持てる力を十分発揮して働くなど、
みんなが一緒に生き生き活動できる社会

それもが、安心して気持ちよく生活するために、あなたは、社会の一員として、身近でどのようなことができるでしょうか。
また、どんなアイデアがうかびますか。

誰もが安心して生活するために

障害のある人たちがより生活をたすけるようにいます。
どんなことをしているかな？

もう ろう ほう
盲導犬

盲導犬は目の不自由な人の「安全な歩行をたすける」はたらきをします。

かい じょ ほう
介助犬

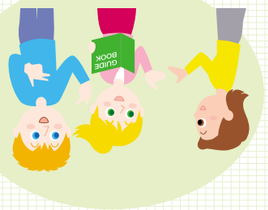
介助犬は体の不自由な人のために、ものを拾いあげたり、ふくを着るときや脱ぐときの手伝い、ドアノブの操作、緊急時に人のたすけを呼ぶなどのはたらきをします。

ちょう こう ほう
聴導犬

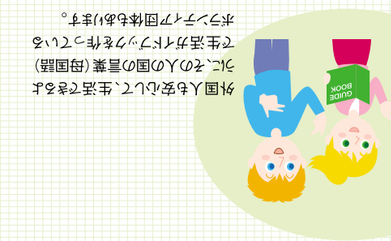
聴導犬は耳の不自由な人のために、ブザーや電話の呼び出音、そのほかを意味する音を聞きわけて、その人に必要な情報を伝え、時には音の出るところへ案内します。

盲導犬、介助犬、聴導犬の3種類を「補助犬」といいます。

たくさんの外国人が暮らしています。
日本語がわからない外国人もいます。
どんなことが一番たいへんかな？



外国人もふくめて、生活できるように、その人の国の言葉（母国語）で生活ガイドブックを作っているボランティア団体もあります。



もえるゴミは明日ですよ。

ゴミの日や分別方法（燃えるゴミ、燃えないゴミなどに分けるの方法）をわかりやすく表示れば、気持ちよく暮らすことができます。

みんなでつくろう ユニバーサル社会

（ひと・もの・情報・まち）

体験すごろく

ユニバーサル社会とは年齢、性別、障害、文化などの違いにかかわらず、それぞれが地域社会の一員として支え合うなかで、安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して活動できる社会です。

名前

ユニバーサル社会は、一人ひとりが自分のできる範囲で、知恵と汗を出し合うことで実現できます。

発行　兵庫県立総合リハビリテーションセンター
問い合わせ　〒651-2181　神戸市西区櫨谷町1070
連絡先:078-927-2727